

MT P

(マネジメント研修プログラム)

管理者に対する訓練として最も普及しているのが、「MT P (Management Training Program) = マネジメント研修プログラム」です。このMT Pは、戦後のわが国の産業発展の口火を切ったばかりでなく、わが国の産業教育の発展史上で、これほど大きな足跡をのこしたものはないとされています。しかも時代の変化に合わせて、MT Pを現代にマッチしたものとするために改訂を重ね、「古くして、今なお新しい」ものとして、大変大きな功績をあげ、産業界から大いに認められています。

このMT Pは、戦前の日本にはなかった訓練方式として普及し、同時に、その後の日本におけるさまざまな訓練コースを生み出すもととなりました。ですから方々で行われているいろいろな管理者訓練、新しいと言われる訓練コースをみても、MT Pにあまりにも似ていることに驚かされるのです。この訓練について、「私も昔受けたことがあります、もう古くて使えませんよ」と言う人がいます。しかし、「企業は人なり」という考え方は古いでしょうか。言い古された言葉ではありますが、決して古い考え方とは言えないのではないのでしょうか。それは、企業経営が“人”の活用を最大の課題としているからなのです。その点MT Pは、管理者向け基礎訓練として、人間行動の原理原則を中心に研修することで、経営の課題に応えようとするものなのです。しかも、経営や管理であっても原理原則というものは、時を超え、時代をも超えて通用するものなのです。「論語」ばかり、「ことわざ」も同じです。MT Pは今なお新しいのです。

初めて聞くものだから、新しいから、目立つから、というように教育や訓練は、思いつきで実施しても効果的ではありません。「継続は力なり」ですので、計画的、体系的、継続的に実施することが大切です。MT Pを継続して実施していると、どの管理者も同じ管理用語を話せるようになります。つまり組織の中で同じ言語が使われ“言葉が通じる”のです。例えば、「管理、管理」と言っている、人によって意味が違えば、間に通訳でも入れないと、互いに違った解釈をし、違った方向に進んでしまいます。それで経営や管理がうまく行くのでしょうか。

その点、MT Pは経営や管理に役立たせるための基礎訓練です。基礎なしに他のいくら高度な訓練をしても意味がありません。MT P以外にたくさんの管理者向けの基礎訓練があります。スポーツには基礎体力をつける方法がたくさんありますが、その中のもっとも単純な、昔から利用されているのが走ることです。走れなくては大概のスポーツができないからです。MT Pは、ひたすらグラウンドを走っています。まずは単純な「基礎固め」から始めようとしているのです。

講座内容

第Ⅰ部 マネジメントの基礎

- 第1セッション マネジメントの基本的な考え方
- 第2セッション マネジメントと人間行動及び組織

第Ⅱ部 マネジメントプロセス

- 第3セッション 計画
- 第4セッション 指揮・命令(指示)
- 第5セッション 統制
- 第6セッション 調整

第Ⅲ部 問題解決とリスクマネジメント

- 第7セッション 問題解決の基本
- 第8セッション 仕事の改善の実践

第Ⅳ部 信頼関係の形成

- 第9セッション 欲求不満への対処と態度の啓発
- 第10セッション 人をめぐる問題の解決

第Ⅴ部 育成と啓発

- 第11セッション 育成の考え方
- 第12セッション メンバーの育成

第Ⅵ部 良いマネジメントの実現

- 第13セッション リーダーシップ
- 第14セッション マネジメントの展開

※途中「理解度促進テスト」を実施

M T P (マネジメント研修プログラム) 開催要領

日 時	令和3年10月26日、11月2日、9日、16日、12月2日、7日の6日間／各日9:30～16:30
会 場	前橋市大手町3-3-1「群馬県中小企業会館」第3会議室
定 員	14名(最少催行人員6名) ※最少催行人員に達しない場合、中止させていただくことがあります。
参 加 費	会員企業＝1名につき99,000円 / 非会員企業＝1名につき148,500円 (いずれも消費税、資料代、6日間の昼食代込み)
講 師	一般社団法人日本産業訓練協会 認定インストラクター 一般社団法人群馬県経営者協会 常務理事 五十嵐 亮 二
申 込 方 法	①下記参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXやメール等でお送りください。 ②開催が決定しましたら、参加費のご請求書をお送りいたします。
申込締切日	令和3年10月19日(火) ※定員になり次第締め切ります。
注 意 事 項	①本研修は6日間の通いとなります。欠席や遅刻・早退、中断が多いと、修了できない場合があります。 ②筆記用具等は各自ご持参ください。 ③参加費ご入金後の返金はいたしません。また、締切日以後のキャンセルの場合は、資料代等が発生するため、全額ご請求いたします。
お問い合わせ先	一般社団法人群馬県経営者協会 担当 五十嵐 亮 二 (いがらし りょうじ) TEL:027-234-2770 FAX:027-234-2771 E-mail: igarashi@gunkeikyo.net

過去の参加企業・講師派遣実施企業(順不同・敬称略)

小倉クラッチ、ナカヨ、関東開発、ケービックス、澤藤電機、両毛システムズ、山田製作所、富士スバル、ヨシカワ、ぐんま安全教育センター、群馬県建設技術センター、ボートネットワーク、藤生製作所、ミツバロジスティクス、星野物産、上電通運、前橋運輸、大西ライト工業所、三共興産、プリエッセ、渋川製作所、芹沢システムリサーチ、赤城自動車教習所、矢島工業、太田治工、親広産業、大嶋電機製作所、日本ケロッグ、クシダ工業、きのした、コガックス、東亜工業、ラジェ工業、八木工業、日望会、イチタン、両毛インターネットデータセンター、石島運輸倉庫、デンカ、三立応用化工、ヤマト発動機、高崎共同計算センター、TI Automotive Japan Gunma、第一石鹸、東京特殊硝子、OPENER、フジハツ工業、トヨタカローラ群馬、旭化成、関東製酪、I P F 他

※貴社に向向いて実施するMTP研修(講師派遣)も随時受け付けていますので、事務局までお問い合わせください。

【会場案内図】



一般社団法人群馬県経営者協会行
FAX: 027-234-2771

「MTP (マネジメント研修プログラム)」参加申込書

会 社 名				T E L	
所 在 地	〒			F A X	
担 当 者 氏 名	所 属 役 職			E - m a i l	

参加者氏名(ふりがな)	所属・役職	年 齢	勤 続
()		歳	年
()		歳	年
()		歳	年